

(表)

様式第 2 号 (第 5 条関係)

誓約書兼同意書

私はうるま市畜産業経営安定支援事業補助金の交付を申請するにあたり、申請書の記載内容及び下記事項に偽りがないことを誓約します。

これらが事実と相違することが判明した場合には、補助金の返還に異議なく応じます。

また、下記事項を確認するために、市が必要に応じて関係機関に対し情報の照会を行い、取得することを同意します。

(自署) 年 月 日

住 所

氏 名 印

(法人の場合は所在地並びに名称及び代表者氏名)

要件	チェック欄
補助金交付後、1 年以上継続的な畜産業を営む意思があります。	☐
家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律(平成 1 1 年法律第 1 1 2 号)、家畜伝染病予防法(昭和 2 6 年法律 1 6 6 号)その他の関係法令等を遵守しています。	☐
裏面に記載のコスト低減等の取組みのうち、令和 3 年度以降に実施した「新規」での取組み又は令和 2 年度以前と比較して「増加・拡大」した取組みを合わせて 3 つ以上実施しています。	☐

(裏)

畜産農家の生産コスト低減等の取組み

令和３年度以降に実施した「新規」での取組み又は令和２年度以前と比較して「増加・拡大」した取組みを合わせて３つ以上選択。（□に✓を記入）

分類	取組メニュー
疾病・事故率などの低減	☐ 事故率低減のため、削蹄の実施
	☐ 事故率低減のため、獣医師の指導等による分娩監視
	☐ 疾病の低減のため、ワクチンの接種
	☐ 分娩監視装置等のＩＣＴ機器の導入
暑熱・寒冷対策による生産性の改善	☐ 暑熱・寒冷対策による生産性の改善
地域内の自給飼料の生産・利用の増加	☐ 牧草地面積を増やす
	☐ 国産牧草（乾草・サイレージ）の給与割合の増加
	☐ エコフィード（豆腐粕・醤油粕等）の給与割合を増やす
	☐ 耕畜連携等による地域内の飼料の利用
（牛）分娩間隔の短縮	☐ （取組み内容を記載）
（豚）人工授精を活用した生産コストの削減	☐ （取組み内容を記載）
（豚・鶏）優良系統の導入による生産性の向上	☐ （取組み内容を記載）
コスト低減に関する勉強会（講習会）の参加	☐ （勉強会・講習会名を記載）
その他	☐ （上記に該当しない取組内容を記載）